

北俣駅前新聞2月号発 長田権院 行

★**医院ニュース①** 2月22日(金)～2月23日(土)は**特別休日**となり、**終日休診**です。

★**医院ニュース②** 2月21日(木)は所用により、**12時00分**きっかりで**診療を終了**致します。

★**医院ニュース③** 2月8日(金)は**2月27日(水)**は**伊那中央病院地域救急医療センター**で夜間診療に従事します(午後7時～10時過ぎ) **夕方の診療は18時15分**くらいで**終了**となります。

★**医院ニュース④** 2月12日(火)は**院長自身の講演会のため**、夕方は**18:30**で**診療を終了**します。延長は出来ません。

2月	★2/21は午後休診です					
日	月	火	水	木	金	土
★2/22～23は休診です						1
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28		



冬鳥を撮る

冬鳥を撮る。何羽撮れるか頑張ってみました。まずは早朝の王城パークラインへ。-10℃の夜明け前から待っていたもののお腹の茶色いホオジロ君(左①)がいただけでした。朝陽はきれいでした(左②)。なかなか鳥が見つからず、ウロウロしていると「ツピン、ツピン」という声が聞こえ、ようやく高い



樹の上の松ぼっくりを食べているヒガラ(左③)が見つかりました。この後は次々に近くに色々な小鳥が集まってきました。天使のように可愛いエナガ(右①、今大人気のシマエナガの本州版)、さらに茶色いお腹のきれいな



ヤマガラ(右②、イナバウアー中)、小鳥というには少し大ぶりのツグミ(右③)など。しかし目的の赤い鳥は現れず、それぞれ場所を変えようとしていたところで、ようやく主役が現れました。かなり高い枝の上でしたが、オオマシコ発見(左④⑤)。すぐ飛んで行ってしまいましたが、羽を



広げた姿もとても美しかったです。やはり冬鳥の主役のひとつです。最後に真打ち登場。松ぼっくりを食べに来ました。イスカ(右④)です。クチバシの先端が交差して上手に松の実を食べてゆきます。イエス・キリス



トが十字架に架けられた時、その釘を引き抜こうとしたため、このようなクチバシになったといわれ、西洋では良い鳥とされているようです。目的の鳥が総て見られたので里へ。別荘地の散策路では、赤の鮮やかなアカゲラ(次頁左①)、いわゆるキツツキです)、木片を唾えて得意げなゴジュウカラ(次頁左②)を見つけまし



た。高いところに黄色い羽のきれいなカワラヒワ(右①左)、怖い顔のシメ(右①右)を見つけますが、ほぼ真上のためあまり写真になりません。あきらめかけたところで、朝見たホオジロと似ているけど腹の白いカシラダカ(右②左)、喉や目の上が黄色いミヤマホオジロ(右②右)などが出てきてくれました。オレンジがきれいなアトリは各所別々の場所で現れてくれました。(左③④)(左④左:♀) 愛想の悪いベニマシコ(右③左)とノスリ(右③左、白いお腹だけ)が締めとなりました。

別の日はスノーシューを履いて冬の上高地へ。早速いたのは目の周りの緑がサイケデリックなコガモ(左④右)の一团。上流では餌(川虫)を捕まえたカワガラス(右④)、飛び立つセグロセキレイ(左④)、やたら水を怖がるミンサザイ(右⑤)が見られました。林間に入ると、最も小型のキツツキ、コゲラ(右⑥右)とエナガ(左⑥)がサービスしてくれました。最後は久しぶりにキバシリ(最下左)が忍

者のように樹を走ってました。帰宅すると柿の老木の残り柿にエナガ(右⑦左)、メジロ(最下左から②)ウグイス(同③)、シジュウカラ(同④)が攻撃を加えていました。